

限界を超えた地球環境破壊を、元に戻すために 温暖化ガス25%目標の達成を

国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第二作業部会が地球温暖化の影響について報告書をまとめた。それによると世界各地ですでに様々な影響がでていると警告している。具体例として、①氷河の後退や湖沼・河川の水温上昇②開花や鳥の渡りなど生物の春季現象の早期化③熱波による死亡、生物などを介した感染症被害の増加など自然界のみならず人類にも少なからず影響が及んでいる。温暖化の影響により水不足人口の増加、食糧の収穫減少などがあげられ、その影響は特に発展途上国で大きくなっており、新たな南北問題になりかねないと報告書は懸念している。鳩山首相は、就任早々に出席した国連気候変動首脳会合の演説で、日本の温暖化ガス削減の中期目標について「2020年までに90年比25%削減」を表明した。麻生前首相が掲げた「05年比15%減」とは比べ物にならない高い目標であり、欧州各国などの首脳が歓迎する一方で、国内の経済界からの反発の声は高い。しかし、日経が調査した世論調査によると、温暖化ガス25%削減目標に64%が「賛成」を示した。賛成の理由として「温暖化を防ぐにはそれくらいの削減は必要だと思うから」(66%)が最も多く、「これくらいの目標でないと、企業や社会は本気で削減に

取り組まないから」(42%)と続く。方や反対する人の理由には「光熱費の上昇などで国民が重い負担を負うことになる」や「企業の競争力を損ない、工場などの海外流出に拍車をかける」などが多い。CO₂により「気候がどうも変化しているのではないか。削減しないと、いずれとんでもないことになる」と気づいて取り組もうとして10年ほど前から動き出しているが、懐疑論者も多く対策は遅々として進んでいない。先進国といわれる国では、「開発“の名のもとに”環境破壊”を続けているし、“エコ”を掲げているが、浪費は収まらない。そればかりか、発展途上国も負けじと追従の歩みを続けている。環境と人権との関係に懐疑的な方もみられますが、現に地球上で生存している人類と子孫が健康で安心して暮らせる権利「生存権」が、様々な「人間活動」によって脅かされていることに気づき、人類を含む地球上のすべての生物の生命保全のために、「環境問題」は欠かせない重要な人権課題であることを理解して欲しい。地球規模での変化はすでに起きている。それを元に戻すには気の遠くなるような年月が必要であるが、まずは過剰消費になれた暮らしを改めることから、やろうではありませんか。

海蔵川の環境を探る

海蔵しぜんクラブ

私たちは、海蔵しぜんクラブに入っています。今日は、クラブで行っている活動の中でも「海蔵川」について、発表します。

まず、海蔵しぜんクラブの紹介をします。

海蔵しぜんクラブは、海蔵小学校に通う子ども達が会員となっているクラブで、10年以上活動を続けています。現在、会員は、1年生から6年生の計16人です。また活動をサポートする海蔵地区在住の大人が6人います。

主な活動は、川や山の自然観察、キャンプ、こどもエコクラブ行事への参加などです。

キャンプは、毎年、四日市市立少年自然の家で行っています。キャンプへは車を使わず、近鉄阿倉川駅から近鉄湯の山温泉駅まで電車で、そこから少年自然の家まで、東海自然歩道約6キロを1時間30分かけて歩いて行きます。今年は雨の中を歩きました。

キャンプでの夕食は野外炊飯です。電気やガスを使わず薪を使って飯ごうでご飯を炊き、お鍋でカレーを作って食べます。この薪も、前にキャンプをしたときに、自分たちが木を切って乾燥させたものを使います。今年も来年以降用に、木を切りました。

普段何気なく使っている電気やガスですが、使わないとたった一食でも料理することが大変だということがわかりました。

このように、私たち海蔵しぜんクラブは、環境のことや自然のことを第一に考え、活動しています。



報告される6年生の会員のみなさんです。

では、今日のテーマである「海蔵川の環境を探る」の発表を行います。クラブでは、毎年、年2回初夏の6月と秋の9月に、四日市市を流れる海蔵川の海蔵地区内で生物調査を行い、壁新聞にまとめています。毎年同じ時期に行うのは、住んでいる生物の変化を調べたいからです。

この活動では、「海蔵川探検隊・うみくら」さんに講師をしてもらっています。

今年は初夏の調査はできなかったのですが、秋の調査は9月5日に行いました。その時作成した壁新聞をもとに発表します。

海蔵川には意外にたくさんの種類の生物が住んでいます。毎回姿が確認できるのは、ウキゴリやメダカ、ウナギなどの魚、カワニナやタイワンシジミなどの貝、ヌマエビやモクズガニなどのカニ・エビの仲間です。去年の秋には、トンボやヤゴもたくさん確認できたのですが、今年はずでに孵化してしまったのか、一種類しか探すことができませんでした。

メダカは絶滅危惧種に登録されていますが、この海蔵川では2年前の調査から毎回姿が確認できているので、とてもうれしいです。

また、今回は今までとれたことがなかった生物が4種類もありました。そのなかでも大きな収穫だったのが、「スッポンの赤ちゃん」です。海蔵川に「スッポンがいる」とは聞いていましたが、実際に川で見つけたのは初めてです。生まれたての赤ちゃんスッポンは、とても小さくてかわいかったです。

<<海蔵川の生き物たち>>

海蔵川探検隊 うみくら のホーム
ページから

海蔵川探検隊 うみくら
海蔵川中流一帯の自然環境を観察し、楽しみながらよく知り、考え、必要なら保護・保全することを目的に平成17年1月に発足したサークルです。
ホームページ
<http://www.geocities.jp/umikura17/>



ヌマエビ

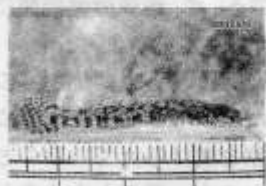
モクズガニ

スッポン

生物調査で、新たな生物を発見できてとてもうれしいのですが、悲しい面もあります。

それはゴミがなかなか減らないことです。今回もほんのわずかな範囲でしたが、たくさんのゴミが捨てられていました。空になったペットボトルやビニール袋、お菓子の空き袋、飲みかけのペットボトルもあり、どうしてこんなことができるのだろうと、悲しくなってしまう。これは、他人の家に行って、ゴミやモノを散らかしっぱなしで帰ってくるのに似ているけれど、それ以上に罪だと思います。

一人一人が地球を傷つけている罪の意識を持ちながら生活をし、私たちが大人になるころには川に捨てられるゴミがないよう、そして川にもっとたくさんの生き物が生活できる環境が作られるよう願っています。



ウキゴリ ハゼの仲間です。

海蔵川にたくさん住んでいます。

お知らせ

◆地区懇談会全日程終了◇

ご協力ありがとうございました。

7月16日(木)西阿倉川ブロック

7月24日(金)末永・本郷ブロック

7月31日(金)野田・清水ブロック

8月 7日(金)東阿倉川町・万古町・

阿倉川町ブロック

9月11日(金)三ツ谷ブロック

9月18日(金)松ヶ丘・阿倉川新町

ブロック

✧人権を考える集い✧

10月3日(土)海蔵小学校体育館で海蔵ぜんクラブのみなさんによる「海蔵川の自然観察」の報告に引き続き、講師に、中部大学教授の谷山鉄郎氏をお迎えして、地球環境問題について、お話していただきました。

海蔵ぜんクラブのみなさんの発表には、海蔵川の自然を長期間にわたって観察が続けられていることは素晴らしいこと、報告もよくまとめられているなど賞賛の声が多数寄せられました。また、これからも続けて欲しいこと、海蔵川にホテルが住めるようになるように努力したいとのアンケートもありました。

クラブのみなさん、サポーターのみなさんお疲れ様でした。



☆ 第2回委員研修会 ☆

開催日時変更のお知らせ

11月14日(金)に開催することにしておりました今年度第2回委員研修会は、会場の都合で**11月26日(木)**午後7時から海蔵地区市民センター2階中会議室に変更させていただきますので、よろしくお願ひします。